

GYODA 2

Feb.2019

No.872

市報ぎょうだ CITY PUBLIC RELATIONS



特集

特殊詐欺にあわないために!

「自分は大丈夫」が一番危ない!! P.2

地域で育て 未来へつなぐ

放課後子ども教室 わくわくクラブ P.4



特殊詐欺にあわないために! 「自分は大丈夫」が 一番危ない!!

平成30年中、市内では5,894万円の特殊詐欺被害が発生し、過去最悪の被害額となっています。
平成15年ごろから、全国でオレオレ詐欺などの特殊詐欺被害が発生し始め、今では知らない人はいない犯罪ですが、その被害はとどまることがありません。大切に貯めたお金が犯罪者の手に渡っています。家族への愛情や人の弱みにつけ込んで財産を奪う悪質な犯罪は、決して許してはなりません。「自分は大丈夫」と思わず、被害者にならない対策を考えてみましょう。

特殊詐欺を防ぐには

内閣府が行った「特殊詐欺に関する世論調査（平成29年3月公開）」では、最も被害が多い世代である70歳以上の24パーセントが被害防止対策を何も行っていないとの結果が出ています。犯人は、優しく丁寧にだましていきます。「自分は大丈夫」と過信せず、対策を行いましょう。



実体験を語る

市内在住80歳男性Aさん へのインタビュー

【事件の概要】

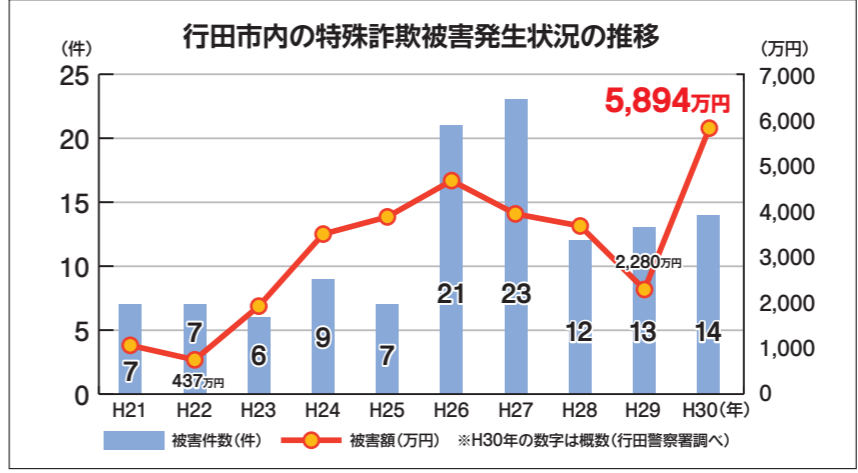
夜8時ごろにAさんの自宅の電話が鳴った。相手は「大宮だけ」と地名を言ったため、Aさんは大宮に住んでいる甥の名前を答えると、相手は甥をかたり、「明日、仕事で近くに用があるため家に寄りた」と話した。お土産を持たせたいと思われ、甥の母である妹に連絡をしたところ、妹から甥はAさんの家の電話番号を知らないはずだと教えられ、詐欺だと気付いた。市職員：詐欺だと分かるまでおかしいなと感じましたか。

Aさん：甥には15年ぐらいい会っていないから、こちらから妹に電話するまでは甥の声だと思いついてしまった。市職員：妹に自ら電話をしたことでだまされなかったということですね。Aさん：そうだね。「こちらから電話をした」というのが良かった。

市職員：なるほど。「自分の知っている番号に掛け直してみる」は、振り込め詐欺防止に有効であることを実感しました。その後、何か対策をされていますか。Aさん：在宅中でも留守番電話に設定し、なるべく電話に出ないようにしている。もし電話に出ても夫婦で誰からどんな電話がかかってきたのか確認しているよ。

市内の犯罪認知件数は、年々減少し、平成21年の半数程になっています。一方、特殊詐欺は、全国での被害額が平成26年にピークとなり、その後減少傾向が続いています。市内では、昨年1件あたり1千万円を超える被害が3件発生し、過去最悪の被害額となりました。

特殊詐欺被害の推移



市内の犯罪認知件数は、年々減少し、平成21年の半数程になっています。一方、特殊詐欺は、全国での被害額が平成26年にピークとなり、その後減少傾向が続いています。市内では、昨年1件あたり1千万円を超える被害が3件発生し、過去最悪の被害額となりました。

多様化する手口

「最終通知」などのタイトルで、「連絡が無い場合は、裁判になる」と電話を促し、言葉巧みに現金を送らせませす。
大手通販会社を名乗るメール
「代金の未納があります」という突然のメールがあり、確認の電話をさせ、「ギフトカードを購入し、番号を伝えたら、それで済む」などだまされてきます。
デパートや家電量販店を名乗る電話
「あなたのキャッシュカードが使われている」「キャッシュカードを変える必要がある」と話した後、金融機関職員を名乗る人物が自宅を訪れ、キャッシュカードを持ち去ります。
警察官や市役所職員を名乗る電話
公的機関の職名を言い、住所や通帳残高、暗証番号などを聞き出します。その後、銀行員などの身分を偽ったものがキャッシュカードを預かりにきます。



お金の話は顔を見て

だます手口が巧妙化し、この対策をすれば絶対に大丈夫と言いきれない状況のため、警察では、詐欺予兆電話がかかってきたとの通報が入った場合は、市と連携し、防災無線や防犯メール、青色回転灯付きパトロール車で注意喚起を行っています。個人の対策として「常に留守番電話の設定をし、電話に出ない」「他人にお金やキャッシュカードを渡さない」をお伝えしていますが、最近でははがきを利用し、現金を宅配便で送らせる手口も発生しています。不安なときは、電話の相手を頼るのではなく、顔の見える周りの人に相談しましょう。ささいなことでも行田警察署 ☎ 553-0110までご連絡ください。



行田警察署生活安全課長 坂井康礼さん



市で配布している予防シール

絆で犯罪を防ぐ

被害を未然に防ぐためには、皆さん一人一人の力が大切です。「自分は大丈夫」という方に詐欺の脅威を知ってもらわなければなりません。離れて住む家族と連絡を取り合う、被害に遭いやすい高齢者の方を地域で見守る、仲間と話題にする。小さなことから一歩ずつ卑劣な犯罪に對抗する絆を深めていきましょう。

▼問い合わせ 防災安全課防犯担当（内線2083）



地域で育て未来へつなぐ 放課後子ども教室 わくわくクラブ

学校・家庭・地域が協働で行う「行田市放課後子ども教室（通称：わくわくクラブ）」。放課後の子供たちの安全・安心な居場所づくりと、地域教育力の活性化を狙いとし、北小・北河原小・西小・太田東小・東小・南小の低学年の児童を対象に実施しています。「子供たちの笑顔のために」。そんな思いを抱きながら情熱を注ぐ地域の皆さんの「これまで」と「これから」をレポートします。



* ① 南小「ペーパート（紙人形劇）」 ② 東小「わくわく子ども食堂」
* ③ 太田東小「ゴム飛行機」 ④ 北河原小「昔遊び（おはじき）」
* ⑤ 北小「シャボン玉遊び」 ⑥ 西小「靴とぼし」

参加した子供たちの声

ものづくりや昔遊びを教えてもらってうれしかったです。また来年も参加したいです。

たこ 麻の作り方を教えてもらってわくわくしました。長く時間を使って遊べるので楽しいです。

生まれて初めてベーゴマが回せるようになりました。特にこま回しの対戦は面白かったです。

これからもわくわくクラブを続けたいです。スタッフの先生ありがとうございます。

どんな活動をしているの？

放課後子ども教室の運営は、コーディネーターとスタッフがを行っています。教室ごとに主に地域の方をコーディネーターとし、スタッフと協力して地域の実態に応じた年間活動計画を立てています。活動内容は、昔遊び、ものづくり、スポーツなど特色ある活動を展開しています。また、今年度から県の「芸術文化ふれあい事業」を活用し、外国の文化を学ぶ国際理解教育や劇団員の指導による演劇体験など、日常では経験できない活動も取り入れています。

今年度の主な活動内容

- 〈昔遊び・ものづくり〉 ・ぎょうだ郷土かるた ・追い羽根づくり ・割りばし鉄砲づくり ・シャボン玉遊び ・ゴム飛行機づくり ・こま回し ・麻づくり ・芝スキー など
- 〈スポーツ〉 ・ドッジビー ・ポッチャ ・スポーツ吹き矢 ・風船バレー など
- 〈文化・芸術体験〉 ・薬師太鼓 ・マジックショー ・演劇体験 ・合唱 など



スタッフを希望する方を対象にした研修会の様子。約70人のスタッフ候補者の方が、運営や安全管理について研修しました。

今後の新規開室に向けて

新たに中央小・埼玉小・太田西小・泉小・南河原小の5校で、新規開室に向けた準備を進めています。各校区内に在住している方をアドバイザーとし、活動の中心となるスタッフを募り、年間活動計画などを作成しています。スタッフ一同、子供たちを迎える日を心待ちにしています。

講師は、現在北小でスタッフを務める統括アドバイザーの渡部政幸さん



新規校のコーディネーターに / インタビュー



東小わくわくクラブコーディネーター
江黒 早苗 さん

これまで東小の読み聞かせボランティアをしてきました。新規開室のわくわくクラブということで、手探りな部分もありましたが、子供たちのパワーを借りて、一緒に創りあげていこうという気持ちで取り組みました。

最初のころは異学年での交流ということもあり、緊張している子もいたようですが、今ではすっかり馴染んでどの子も活発に活動しています。3年生が1年生の面倒をよくみてくれることには感心しました。活動時間が放課後ということもあり、子供たちは開放感からか無邪気な表情を見せてくれます。

スタッフは得意分野を生かして楽しく一緒に活動しています。地域の方々とこの教室を通して触れ合う経験が、子供たちに「地域に見守られている」という安心感を与えるようです。

より多くの方と接することで、子供たちの感受性が豊かになると思います。ぜひ、興味を持った皆さんにはご参加いただけるとありがたいです。

一緒に活動してくれるスタッフを募集しています

現在、活動していただいているスタッフは、主に各教室の小学校区にお住まいの方々です。

放課後子ども教室「わくわくクラブ」に興味があり、自分の経験や得意分野を生かしたい方、子どもが大好きな方、必要な資格などは問いませんので、ぜひスタッフとして活動してみませんか。

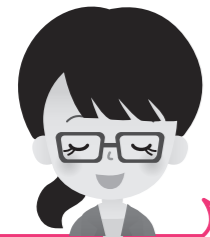
▼問い合わせ ひとつくり支援課生涯学習担当 ☎5556-8319

「今」からみんなで考えよう! 公共施設の将来

～【番外編】安心・安全なインフラ資産を守る取り組み～

今月号では、公共施設マネジメントの取り組みの番外編として、皆さんの生活に欠かすことのできない「インフラ資産」を守る取り組みを紹介しします。

ぎょうだ足袋中学校
担任 ハス子先生



そうですね。インフラとは、インフラストラクチャーの略称で、道路や橋、上下水道など生活や産業の基盤を意味しています。近年では、インフラ資産の老朽化などを原因とした事故も起きていることから、日頃からの適切な管理が求められていますね。

ぎょうだ足袋中学校
1年 こはぜ君



道路ですね。あと最近、橋の工事をよく見かけるから、橋も含まれるのかな?

行田市役所
やりくり室長

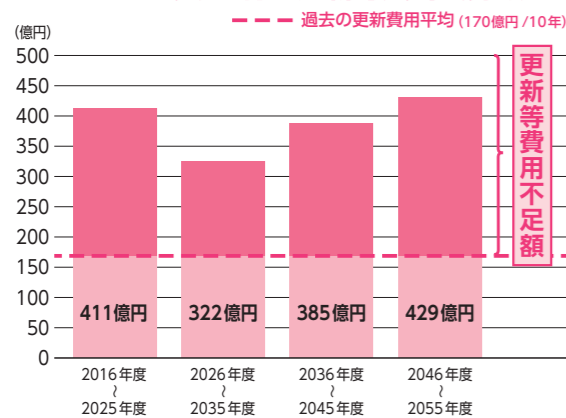


計画的な維持管理を必要としているのは、建物としての公共施設だけではありません。インフラ資産も同様に老朽化などへの対策を必要としています。では、インフラ資産とは何か、分かりますか。

インフラ資産って何?

建物を対象とした公共施設マネジメントの取り組みを学んできたこはぜ君。今月号では、日常生活で欠かすことのできない「インフラ資産」を守る取り組みを学んでいるようです。

インフラ資産 将来更新等費用試算額



インフラ資産についても公共施設と同様に、安心・安全を守るため、次のような資産に特化した計画の策定を進めています。

- ・行田市水道事業ビジョン (上水道)
- ・行田市下水道ストックマネジメント計画 (下水道・平成30年度末策定)
- ・行田市橋梁長寿命化修繕計画 (橋りょう)
- ・行田市公園施設長寿命化計画 (公園)
- など



インフラ資産は長寿命化!

インフラ資産の種類と更新費用

インフラ資産は、市民の皆さんの生活や産業の基盤であり、安全な暮らしを支える上で必要不可欠な資産です。インフラ資産としては「道路」、「橋りょう」、「上水道」、「下水道」、「公園」などがあります。市では、数多くの資産を整備してきましたが、公共施設と同様に老朽化が進んでおり、順次更新の時期を迎えようとしています。

平成27年度に策定した「行田市公共施設等総合管理計画」における今後40年間の更新等費用の試算額は、約1千547億円となっています。1年あたりの平均額は約39億円と、これまでの単年の実績額約17億円の約2.3倍となっています。

インフラ資産の長寿命化

公共施設が抱える更新等費用などの問題に対しては、今後40年間で保有量の27%を削減するという取り組み目標を掲げていますが、皆さんの日々の生活を支えているインフラ資産を、同じように減らすことはできません。

市では、減らすのではなく、予防保全型の維持管理や長寿命化工事を推進し、負担を抑えながらインフラ資産を守るための取り組みを進めています。

▼問い合わせ 改革推進室ファシリテーター
マネジメント担当 (内線327)



市民のみなさんの「声」を市政に 平成30年度「市政懇談会」を開催しました

本市では、「市民が主役のまちづくり」を進めるため、工藤市長および市職員が地域へ出向き、皆さんが日頃から感じている市政への意見や提言、また、地域で抱えている課題などを幅広くお聴きする「市政懇談会」を開催しています。

平成30年度は全地区15会場で開催し、延べ473人の参加があり、活発な意見交換が行われました。参加者から、まちづくりやこれからの行田のあり方に関し、さまざまな意見が寄せられましたので、意見の一部を紹介しします(抜粋・要約)。

交流人口、定住人口対策と活性化

Q 来訪者が増えてきているとのことだが、本当にそうなのか。日本遺産認定や「陸王」などによって行田のPR効果はあった。しかし、依然として市の人口は減少しており、観光客やふるさと納税も今後リバンドで減ってしまうのではないかと。市としての対策や考えがあれば教えてください。

A TBSテレビ日曜劇場「陸王」の撮影では市民の皆さんの協力により、市内も大いに盛り上がり撮影を成功させることができました。今後も、そのノウハウを生かして、市の魅力を発信していきたいと考えています。

また、定住人口の増加を図るため、さらなる子育て・教育環境の充実とともに、移住・定住コンシェルジュの配置や移住体験ツアーなど、官民一体となった「移住・定住」

農地中間管理事業

Q 市における農地中間管理事業について伺いたい。農地を所有しているが、自分では設備も無く耕作できないため、現在地元農家にお願ひしている。しかし、その方も高齢のため、いつ断られるか心配している。農地中間管理事業の進捗状況と、相談すれば受け手がみつかるのかどうか教えてください。

A 農地中間管理事業は順調に進んでおり、本市は、この事業を利用した農地の貸借面積において県内上位です。

この事業では、どの農地を誰が耕作するかを、農業委員や農地利用最適化推進委員を

避難所

Q 災害が起きたときにどこへ避難すればいいのか。小学校や公民館だけでは収容に限りがある。近くの県の施設は許可がないと使えないため、県や民間企業とあらかじめ協定を結び、避難所として使用できるようにしてほしい。

A 災害時には市の施設に避難するよう呼び掛けていますが、出来るだけ多くの施設が利用



中心に、地元で話し合っ決定します。農地中間管理事業で貸借していた農地が返されたときは、農地中間管理機構が地元と協力して次の受け手を見つけてよう努力します。

市では農地中間管理事業を活用し、農業がその収益だけでも生計が成り立つ魅力のある仕事となるように国や県、農地中間管理機構とともに取り組む必要があると考えています。

ごみ分別方法表示の多言語化

Q 近年、アパートなどに外国人居住者が増加しているが、ごみの分別がされていないことが多く、地域住民が分別をしている。市が発行する外国語版のごみ分別方法の資料は4カ国語のみで、多国籍に対応できていないため、必要言語の資料を作成してほしい。可能であれば通訳の派遣も検討してほしい。

A 環境課では、外国語版ごみ分別ポスターについて英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語の4カ国語を作成しています。これまでベトナム語には対応していませんでしたが、現在ベトナム語版の作成を行っています。また、今後、他の言語が必要となった場合には、県が設置・運営を行っている「外国人総合相談センター埼玉」と連携し対応していきます。

できるだけ引き続き、必要に応じ働き掛けていきます。

行田みらい塾成果発表会 「行田みらいフォーラム 2019」を開催します

行田みらい塾は、日本遺産を活用した観光施策や地域ビジネス創出など、地域の活性化を担う人材育成を目的として、昨年7月に第1期がスタートしました。この第1期生らによる成果発表会「行田みらいフォーラム2019」を開催します。

- ▶日時 3月10日(日)午後1時
- ▶場所 商工センターホール
- ▶内容 塾生がこれまで学んだことを生かして、グループに分かれ行田の活性化をテーマに発表する他、丁野朗さん(東洋大学大学院客員教授)をお招きし、塾生の代表らと行田の未来について語り合います。
- ▶問い合わせ 行田市日本遺産推進協議会(企画政策課内・内線311)

市民活動団体による 助成金活用成果の 合同発表会を開催します

市民のやる気を応援する助成金をご存じですか。市民活動を始めるきっかけとして、活用できる助成金のノウハウを教えます。また、相互の情報交換のため、市民活動団体との交流会も予定しています。

- ▶日時 2月15日(金)午後2時～4時30分
- ▶場所 コミュニティセンターみずしろギャラリー
- ▶定員 30人(先着順)
- ▶参加費 無料
- ▶主催 市民活動サポートセンター
- ▶申し込み・問い合わせ 直接または電話で同センター(コミュニティセンターみずしろ内) ☎598-8616 ※月・火・木～土曜日の午前9時～午後5時(コミュニティセンターみずしろの休館日を除く)



▼問い合わせ
人権推進課人権同和対策担当(内線221)



永野 修之 氏

**永野修之氏が人権擁護委員に
委嘱されました**

私たちの基本的な人権の擁護や自由人権思想の普及などのために活動している人権擁護委員の永野修之氏(谷郷)は、12月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き人権擁護委員に委嘱されました。

人権擁護委員の任期は3年で、1月1日付で法務大臣から委嘱を受けました。

市民活動サポートセンター 4月からの臨時職員を募集します

市民活動サポートセンターでは、市民活動団体の活動支援や、市民活動に関する情報発信などを行っています。市民活動に興味のある方、市民活動を既にしている、またはこれから始めようと思っている方など、一緒に市を盛り上げていただける方を募集します。

- ▶勤務時間 午前9時～午後1時または午後1時～5時(交代制)、月・火・木～土曜日の週5日
- ▶勤務場所 市民活動サポートセンター(コミュニティセンターみずしろ内)
- ▶業務内容
 - ・市民活動に関する情報の集約、発信、相談業務など
 - ・市民活動に関する講演会やイベントの企画、開催など(パソコン作業あり)
- ▶募集人数 若干名
- ▶時給 930円
- ▶選考方法 書類選考の上、面接を行います。
- ▶申し込み 市販の履歴書(写真貼付)に必要事項を記入の上、3月8日(金)までに地域づくり支援課に持参してください。
- ▶問い合わせ 同課協働推進担当(内線253)

コミュニティセンターみずしろの ロッカー使用申し込みを受け付けます

- ▶使用期間 4月1日(月)から1年間
- ▶使用可能団体 コミュニティセンターみずしろを月1回以上利用している団体(代表者が市内在住であること)
- ▶貸出台数 30台(1団体につき1台まで)
- ▶使用料 無料
- ▶その他 申し込みが貸出台数を上回った場合は、公開抽選により使用団体を決定します(抽選の場合は別途、連絡します)。
- ▶申し込み 2月18日(月)～28日(木)の午前9時～午後5時に直接または電話で団体名、代表者氏名・住所・電話番号を地域づくり支援課にお伝えください(土・日曜日を除く)。
- ▶問い合わせ 同課協働推進担当(内線253)

4月7日(日)県議会議員選挙、4月21日(日)市議会議員・市長選挙

4月に統一地方選挙が執行されます



立候補予定者説明会を3月2日に開催します

4月21日執行の行田市議会議員一般選挙および行田市長選挙について、立候補を予定されている方を対象に説明会を開催します。

- ▶日時 3月2日(土)午前9時～正午
- ▶場所 市役所3階305会議室

※会議室の都合により、参加者は立候補予定者1人につき3人まで(立候補予定者を含む)とします。

郵便などによる不在者投票

身体障害者手帳、戦傷病者手帳または介護保険の被保険者証をお持ちの方のうち、次の事項に該当する方は、郵便などによる不在者投票を行うことができます。なお、この郵便等投票制度を利用するためには、あらかじめ郵便等投票証明書の交付を受ける必要があります。新たに申請される場合は、審査に日数がかかる場合がありますので、早めに申請してください。

身体障害者手帳をお持ちの方

- ・両下肢、体幹または移動機能の障害の程度が1・2級の方
- ・心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸または小腸の障害の程度が1級または3級の方
- ・免疫または肝臓の障害の程度が1級から3級の方
- ・両下肢などの障害の程度が上記に該当すると知事などが証明した方

戦傷病者手帳をお持ちの方

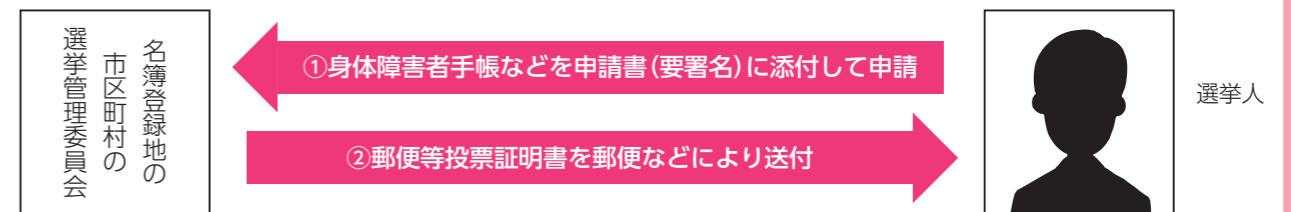
- ・両下肢または体幹の障害の程度が特別項症から第2項症の方
- ・心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸または肝臓の障害の程度が特別項症から第3項症の方
- ・両下肢などの障害の程度が上記に該当すると知事が証明した方

介護保険の被保険者証(要介護状態区分が要介護5)をお持ちの方

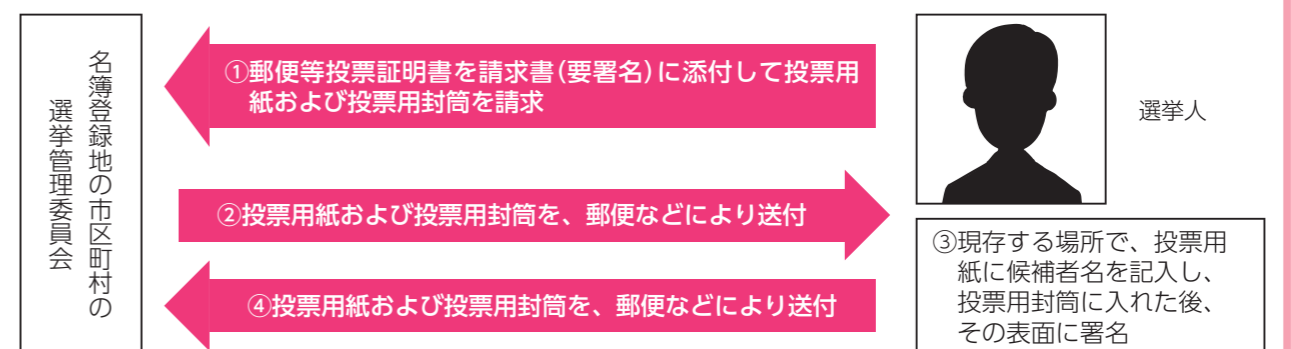
<申請から投票までの流れ>

1 郵便等投票証明書の交付申請

投票に先立って、郵便などによる不在者投票をすることができる者であることを証明する「郵便等投票証明書」の交付を、名簿登録地の市区町村の選挙管理委員会に申請します。



2 投票手続き



郵便などによる不在者投票での代理記載制度もあります。詳しくは選挙管理委員会へお問い合わせください。

- ▶問い合わせ 選挙管理委員会(内線219)

平成30年身近な犯罪の発生状況をお知らせします

市内の身近な犯罪は、全体に減少傾向にあります。空き巣被害は増えています。たとえ数分でも家を離れる場合は、「ワンドアツーロック」を徹底しましょう。また、オートバイ盗難も増えています。オートバイや自転車を駐車するときは、保管場所にセンサーライトをつけるなど、防犯対策をしましょう。



▶地区別犯罪発生状況

手 口	強 盗	侵入窃盗			非侵入窃盗							合 計	
		空 き 巣	忍 び 込 み	そ の 他	ひ つ た く り	自 動 車 盗	オ ー ト バ イ 盗	自 転 車 盗	車 上 ね ら い	工 事 場 ね ら い	部 品 ね ら い		万 引 き
忍		2		1		2	2	6	3		3		19
行田		2						10	1		5	2	20
佐間		1		2		1		3	2	1		8	18
持田		4	1	4	1		2	19	1	1	6	17	56
星河		3	2	1				10	2		5	5	28
長野		3	1	3			3	11	1		12	7	41
荒木		1	1	2				2	1				7
須加		1									1		2
北河原												3	3
埼玉		1		2		1							4
星宮							1		2				3
太井		2		1		2		17	4		4	3	33
下忍		3		2			1			1		2	9
太田		2		2		2	1	5	5		2	3	22
南河原		1		3				2	3				9
30年	0	26	5	23	1	8	10	85	25	3	38	50	274
29年	0	24	9	30	0	9	3	104	63	4	42	75	363
前年比	0	+2	-4	-7	+1	-1	+7	-19	-38	-1	-4	-25	-89

※侵入窃盗のうち「その他」には、事業所あらしや出店あらし(店舗侵入窃盗)などが含まれます。
※数字は概算(行田警察署調べ)

▶問い合わせ 防災安全課防犯対策担当(内線283)

埼玉県最低賃金が改定されました

県内の事業場で働く全ての労働者に適用される埼玉県最低賃金は、平成30年10月1日から時間額898円(引き上げ額27円)となりました。

さらに、平成30年12月1日から5業種の特定(産業別)最低賃金の時間額がそれぞれ、非鉄金属は924円(引き上げ額20円)、電子部品は930円(引き上げ額21円)、輸送機械は939円(引き上げ額21円)、光学機械は938円(引き上げ額21円)、自動車小売は936円(引き上げ額20円)となりました。

▶問い合わせ 埼玉労働局賃金室 ☎048-600-6205 または 行田労働基準監督署 ☎556-4195

ぎょうだエコノミックガーデニングホームページを活用しませんか

市では、行田の企業を元気にしたい、さらにもっと輝いてもらいたいという思いから中小企業支援に特化した支援政策を行っています。ぎょうだエコノミックガーデニングは、地域を「庭」、地元の中小企業を「植物」に見立て、地域という土壌を生かして地元の中小企業を大切に育てることを目指しています。一緒に地域経済の「賑耕(振興)」を実現しましょう。

ぎょうだエコノミックガーデニングホームページ (<http://www.gyoda-eg.jp/>) は、市内企業の方などのための情報収集サイトです。中小企業支援の内容や市内企業情報などを検索することができます。事業主の方で、本ホームページ上に会社情報や採用情報の掲載を希望する場合は、商工観光課までお問い合わせください。

▶問い合わせ 同課商工振興担当(内線383)

交通災害共済平成31年度分の加入を受け付け中

万一の事故に備えて加入しましょう

交通事故を無くすためには、ルールを守ることはもちろん、気持ちのゆとりと譲り合いの精神を持つことが大切です。しかし、どんなに気を付けていても交通事故に遭うことがあります。万一の事故に備えて、ぜひ交通災害共済にご加入ください。

これは、市民の皆さんが会費を出し合うもので、加入している方が交通事故に遭ったとき、見舞金が支払われる相互扶助制度です。

▶加入資格

本市の住民基本台帳に記録されている方

▶加入期間

4月1日(月)から1年間

※加入期間中に市外へ転出した場合効力を失います。

▶費用

1人年額500円

※10月以降に加入する場合は250円

▶加入方法

防災安全課で年間を通して随時受け付けていますが、3月29日(金)までは、自治会を通して加入の取りまとめを行います。

※各自治会で指定した期間に限りです。

▶その他 対象となる事故、対象とならない事故、見舞金に関する事などは同課へ問い合わせください。

▶問い合わせ 同課交通担当(内線284)

有限会社羽生モータースクール 行田ドローンスクールと「災害時における無人航空機による協力活動等に関する協定」を締結しました



協定を締結した有限会社羽生モータースクール行田ドローンスクール五十幡和彦代表取締役(左)と工藤市長

1月10日、有限会社羽生モータースクール行田ドローンスクールと「災害時における無人航空機による協力活動等に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害発生時にドローンを活用した被災状況の調査や撮影した情報の提供などを行うことを内容にしたもので、これにより本市の応急復旧対策のさらなる迅速化が図られます。

▶問い合わせ 防災安全課防災担当(内線282)

防災行政無線の情報伝達訓練を実施します

自然災害や武力攻撃などの発生時に備えて、防災行政無線を利用した全国瞬時警報システム(Jアラート)の全国一斉情報伝達訓練を次のとおり実施しますのでご注意ください。

▶試験日時 2月20日(休)午前11時ごろ

▶放送内容 上りチャイム音→「これはJアラートのテストです(3回繰り返し)。こちらは防災行田です」→下りチャイム音

※Jアラートとは、国が把握した時間的に余裕がない緊急情報を市町村の防災行政無線などを利用して瞬時に伝達するシステムです。

▶問い合わせ 防災安全課防災担当(内線282)



介護者教室を開催します

高齢者が在宅で安心して暮らしていけるよう、介護者教室を開催します。介護保険制度の基本的な考え方や正しい活用法などについてお伝えします。

- ▶日時 3月12日(水)午後1時30分～3時
- ▶場所 中央公民館第1学習室
- ▶テーマ 介護保険制度の基本「いろいろの「い」。
- ▶対象 現在介護をしている方、介護について関心のある方
- ▶定員 20人(先着順)
- ▶参加費 無料
- ▶持ち物 筆記用具
- ▶申し込み・問い合わせ 3月8日(金)までに地域包括支援センター緑風苑 ☎557-3611
- ▶この記事に関する問い合わせ 高齢者福祉課地域包括ケア担当(内線278)

認知症予防の新常識「葉酸」を摂ろう おてがる調理 栄養バランス講座

ほうれん草などに多く含まれる葉酸は、認知症予防に効果があるといわれています。冷凍食材などを上手に使う、手軽で効果的に葉酸が摂れる方法を学びましょう。

- ▶日時 3月13日(水)午前10時～午後0時30分(午前9時30分から受け付け)
- ▶場所 VIVAぎょうだ調理実習室
- ▶内容 葉酸の上手な摂り方についての講話、川合玲子さん(管理栄養士)による調理実習「冷凍食材などを使った葉酸も摂れる栄養バランス食」
- ▶対象 市内在住でおおむね65歳以上の方およびその支援に関わっている方
- ▶定員 25人(先着順)
- ▶参加費 300円(材料費) ※当日徴収
- ▶持ち物 スリッパ、エプロン、三角巾または大判ハンカチ、筆記用具
- ▶申し込み・問い合わせ 3月1日(金)までに電話で高齢者福祉課地域包括ケア担当(内線278)

第25回ふれあいまつり

- ▶日時 3月2日(土)午後0時20分～4時30分、3月3日(日)午前9時30分～午後4時
- ▶場所 地域交流センター
- ▶内容 【2日】作品展示、健康マージャン他 【3日】作品展示、芸能発表、お茶会、健康チェック、ゲーム、豚汁・餅つきなどの飲食コーナー他
- ▶主催 同センターふれあいまつり実行委員会
- ▶問い合わせ 同センター ☎559-1399

あなたも行田市の登録手話通訳者になりませんか

聴覚・音声または言語機能に障害のある方に対して、手話通訳を行う登録通訳者の選考試験を実施します。登録後は、派遣申請に基づき手話通訳業務を依頼します。

- ▶日時 3月17日(日)午後1時30分～3時30分(予定)
- ▶場所 総合福祉会館「やすらぎの里」
- ▶受験資格 平成31年4月1日現在、満20歳以上の方(学生を除く)
- ▶試験内容など

試験方法	内容
筆記	①行田市の福祉に関する知識 ②聴覚障害者に関する知識 ③障害者福祉に関する知識 ④手話通訳に関する知識
聞き取り	手話表現(2問)
読み取り	口述(2問)
面接	

※手話通訳士の資格を有する方、全国統一試験または埼玉県登録手話通訳者認定試験に合格している方は面接のみ行います。

- ▶申し込み 2月1日(金)から福祉課および行田市社会福祉協議会で配布する所定の申込用紙に必要事項を記入し、選考試験実施要領を参照の上、2月28日(水)(必着)までに提出してください。
※選考試験実施要領と申込書の配布は、土・日曜日、祝日を除きます。
- ▶問い合わせ 同課障害福祉担当(内線266)または同協議会 ☎557-5400

ねんきんサテライト加須が開所します

身近な場所で年金相談などを利用するため、熊谷年金事務所分室として、2月1日(金)にねんきんサテライト加須が開所します。

- ▶受付時間 午前8時30分～午後5時15分(土・日曜日、祝日、年末年始を除く) ※2月1日は午前10時から
- ▶場所 加須市役所(加須市三保2-1-1)
- ▶業務内容
 - ・年金相談および年金請求などの手続き
 - ・厚生年金保険・国民年金関係の届書などの受け付けおよび相談
- ▶その他 年金相談および年金請求などの手続きは、混み合う場合がありますので、事前に予約をお願いします。なお、予約の際は、基礎年金番号の分かる年金手帳や年金証書をご用意ください。
- ▶予約受付専用番号 ☎0570-05-4890
- ▶問い合わせ 熊谷年金事務所 ☎522-5012

充実したキャンパスライフを送りませんか

行田市民大学の新生を募集します

「市民による手作りの学校」を目指して設立された行田市民大学は今年度10周年を迎えました。本学では、大学講師をはじめとする専門家から郷土の歴史や健康づくりなど、さまざまな分野について学ぶことができる趣向を凝らしたカリキュラムを企画しています。「学んだことをそれぞれの生活や地域で生かしたい」と考えている方は、ぜひご応募ください。

- ▶修学期間 5月9日(休)から2年間、毎月2回程度(原則木曜日)
- ▶時間 午後1時30分～3時30分のうち90分間
- ▶場所 ものづくり大学(予定)他
- ▶応募資格 原則として市内在住・在勤で16歳以上の方
- ▶募集人数 50人(定員を超えた場合は抽選)
- ▶学費 年間15,000円(入学決定後、指定する日までに振り込み)
※視察ツアーは別途負担あり
- ▶主催 NPO法人行田市民大学活動センター
- ▶応募方法 市役所、教育委員会、各公民館などに用意してある所定の申込用紙(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入の上、3月15日(金)までに持参、郵送、FAXのいずれかの方法で申し込みください。
【郵送】〒361-0056 行田市持田4-35-11 NPO法人行田市民大学活動センター
または〒361-0052 行田市本丸2-20 行田市教育委員会ひとつくり支援課(ひとつくり支援課へは持参も可)
【FAX】同法人501-2448、同課556-0770
- ▶入学決定 3月29日(金)までに応募者へ結果を通知します。

講座予定

期日	内容	期日	内容
5月9日	入学式、記念講演、オリエンテーション	10月26日・27日	ものづくり大学学園祭
5月16日	郷土の地形と成り立ち	11月14日	自然の大切さ みんなで学ぼう
5月30日	グループ研究のテーマと進め方	11月28日	第2回視察ツアー
6月13日	「のぼうの城」を検証する…成田一族の盛衰	12月12日	郷土の文化を学ぶ1
6月20日	第1回視察ツアー	12月19日	音楽鑑賞 クリスマスコンサート
6月27日	古墳(さきたま史跡の博物館)	2020年1月16日	郷土の文化を学ぶ2
7月11日	高齢運転者の注意点	1月23日	同窓会活動について
7月25日	忍城主は、なぜ徳川幕府に重用されたのか	2月13日	健康長寿の食生活
9月12日	老後の暮らし	2月20日	ストレッチ運動(一日体験入学可)
9月26日	元気の出る街づくり	2月27日	グループ研究成果発表
10月10日	郷土の歴史を学ぶ(幕末から明治初期)	3月12日	修了式
10月17日	行田市の原点 日本一の足袋産業		

※日程および講座は、変更となる場合があります。
※講座の他に自主グループ研究活動があります。

- ▶問い合わせ 同法人 ☎501-2404 または同課生涯学習担当 ☎556-8319



ご参加ください 総合公園の清掃活動

総合公園を愛着のある公園にするため、ボランティア清掃活動を行います。この活動にご協力いただける方の参加をお待ちしています。

- ▶日時 2月16日(土)午前9時～10時ごろ(午前8時45分集合) ※雨天中止
- ▶集合場所 総合公園管理棟前
- ▶持ち物 清掃用の手袋、ごみ袋
- ▶主催 行田のまちをゴシゴシ委員会
- ▶その他 清掃活動を中止する場合は前日に判断し、市ホームページおよび市公式ツイッターで周知します。
- ▶問い合わせ 同委員会事務局(都市計画課内・内線5604、管理課内・内線5704)

陸王杯第35回行田市鉄剣マラソン大会のボランティアを募集します

- ▶活動日時 4月28日(日)午前6時30分～正午
- ▶場所 古代蓮の里
- ▶内容 飲み物の配布や選手誘導など
- ▶対象 15歳以上の方
- ▶その他 4月中旬に事前説明会を実施
- ▶申し込み・問い合わせ 2月20日(水)までに直接または電話で行田市鉄剣マラソン大会実行委員会事務局(スポーツ振興課内) ☎556-8336

下水道事業受益者負担金をお支払いの方へ

第4期納期限 2月27日(水)

受益者負担金は、下水道供用開始となった時点で、使用の有無を問わず土地の面積に応じて賦課されます。この負担金の納付には便利な口座振替をご利用ください。また、期限内の納付が困難な場合は、納付相談をご利用ください。

なお、負担金賦課区域内の土地で売買・相続などにより受益者の変更があった方は、下水道課までご連絡ください。

▶問い合わせ 同課業務担当 ☎564-0303

屋敷林・社寺林を大切にしましょう

市では、森づくりをはじめ、緑化推進に努めています。まちの緑は、そこに住む人々に安らぎや潤いを与え、良好な環境の維持形成に大きな役割を果たしています。

以前は、ケヤキなどを防風林として屋敷内に植えた家がありました。今では数少なくなりました。この屋敷林や神社・寺院の社寺林を保全できるよう、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

▶問い合わせ 都市計画課公園担当(内線5604)

納期のお知らせ(2月分)

普通徴収(納付書や口座振替で納めていただく方)
国民健康保険税・・・8期
後期高齢者医療保険料・・・8期
介護保険料・・・8期

納期限 2月28日(木)

- 市税などの納付には、「安心! 確実! 便利!」な口座振替をご利用ください。
- 納付の相談は随時収納課で実施しています。

▶問い合わせ 収納課収納担当(内線236・237)

特別徴収(年金からあらかじめ差し引かれる方)

2月支給の年金から差し引きます。

- ①市県民税
- ②国民健康保険税
- ③後期高齢者医療保険料
- ④介護保険料

▶問い合わせ ①税務課市民税担当(内線231)
②保険年金課国保担当(内線271)
③保険年金課医療担当(内線227)
④高齢者福祉課介護保険担当(内線277)

ごみ問題を考えるつどい

- ▶日時 2月17日(日)午後1時30分～3時30分
- ▶場所 「みらい」文化ホール
- ▶内容 浅倉孝郎さん(埼玉県環境アドバイザー)による講演「私たちの暮らしとごみ問題」
- ▶定員 300人(先着順)
- ▶入場料 無料
- ▶主催 行田市衛生協力会連合会
- ▶問い合わせ 環境課環境業務担当 ☎556-9530

2月は省エネルギー月間です

私たちの豊かな暮らしは、エネルギーの消費によって成り立っています。日常生活に欠かすことのできない電気、ガス、水道はもちろん、現代社会の土台になっている運輸、通信なども全てエネルギーを利用しています。しかし、エネルギーの大量消費は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガス排出量の増加につながります。

特に、冬の期間は暖房などによるエネルギーの消費が増えることから、国では毎年2月を「省エネルギー月間」と定め、省エネルギーの推進を呼び掛けています。このまちで暮らす私たちも、毎日の生活を少しだけ見直して、みんなで「行田エコタウン」を創っていきましょう。

今日からできる冬の省エネ行動

- 重ね着をして、暖房の温度を下げたり、利用時間を減らしたりしましょう。
- 使わない家電製品は、コンセントからプラグを抜くか主電源を切りましょう。
- 部屋を出るときは、明かりを消しましょう。
- 風呂は冷めないうちに、家族で続けて入りましょう。
- シャワーは流しっ放しにせず、こまめに止めましょう。

▶問い合わせ 環境課環境政策担当 ☎556-9530

渡り鳥の見守りにご協力を



水城公園に飛来したオナガガモの様子

市内の河川や池に、カモなどの渡り鳥が飛来しています。渡り鳥は10月から12月ごろにかけて飛来し、2月から5月ごろにかけて飛び立っていきます。

野鳥に餌を与えたり、ごみを放置したりすると、野鳥を人の生活圏に誘引したり、生態系や鳥獣の保護などに影響が生じたりする恐れがあります。野鳥には静かな環境が一番です。不用意に接触したり、傷つけたりせずに静かに見守りましょう。皆さんのご協力をお願いします。

▶問い合わせ 環境課環境政策担当 ☎556-9530

燃やせるごみの直接搬入を一時中止します

小針クリーンセンターでは、焼却施設の補修を予定しています。3月4日(月)～15日(金)は燃やせるごみの直接搬入はできませんので、ご注意ください。

▶問い合わせ 鴻巣行田北本環境資源組合 ☎559-3641

各種相談 (2月15日～3月14日)

相談	場所	期日	時間	問い合わせ
法律(予約制)	産業文化会館 2階会議室	2月26日(火) 3月14日(水)	※予約はその月の1日から(土・日曜日、祝日の場合は翌日) 午前9時20分～正午 午後1時40分～4時20分	地域づくり支援課 (内線252)
行政機関に対する 意見・要望	産業文化会館 2階会議室	2月18日(月)	午後1時30分～3時30分	
消費生活 多重債務	市役所	毎週月～金曜日(祝日を除く)	午前9時30分～午後3時30分	消費生活センター (内線495)
結婚	VIVAぎょうだ	3月3日(日)	午前10時～正午	NPO法人行田結婚 支援センター ☎090- 2416-9692
相続、遺言、離婚、 日常生活の困り事	VIVAぎょうだ	3月13日(水)※予約制	午後1時～5時 (受け付けは午後4時まで)	埼玉県行政書士会 埼玉支部 ☎554- 2702
夫婦関係・DVなど (予約制)	VIVAぎょうだ	毎週木・土曜日 ※土曜日は市内在住の方を対象に電話相談も受け付けます。	午後1時～4時 (電話相談は午後1時～2時)	VIVAぎょうだ ☎556-9301
内職	市役所	毎週月～金曜日(祝日を除く)	午前9時～午後5時	商工観光課 (内線383)
人権	南河原隣保館	3月13日(水)	午後1時30分～3時30分	人権推進課 (内線221)
税務(予約制)	関東信越税理士会 行田支部 (市役所前)	毎週水曜日(祝日を除く)※予約受け付けは毎週月・水・金曜日(祝日を除く)の午前10時30分～午後3時30分	午後1時～4時	関東信越税理士会 行田支部 ☎554-1411
夜間の 納税相談	市役所	毎週火曜日(祝日を除く)	午後5時15分～7時	収納課 (内線236・237)
水道料金の 夜間納付	水道庁舎(前谷)	2月19日(火)、3月5日(火)	午後5時15分～7時	水道課 ☎553-0131

放射線量の測定値
・測定箇所 行田消防署本署地内
・測定高 1メートル
1月20日(日) 午前9時 0.07マイクロシーベルト(晴れ) 午後3時 0.06マイクロシーベルト(晴れ)

▼問い合わせ
☎556-9530
環境課環境業務担当

さしあげます

▷カラーボックス(3段) ▷大人用自転車 ▷ウサギ用ケージ

ゆずってください

▷電気ストーブ ▷猫用キャリーケース ▷ジョイントマット ▷猫用ケージ ▷テレビ(薄型) ▷テレビ台(薄型用) ▷ベビーベッド ▷人台 ▷折りたたみ式自転車 ▷洋服ダンス ▷和ダンス ▷石油ファンヒーター

市では、資源の有効利用とごみの減量化を図るため、不用品登録制度を実施しています。この制度は紹介制で、紹介後は個人間のやり取りとなります。また、やり取りは無料で登録期間は3カ月です。
なお、円滑な仲介事務を進めるため、不用品登録の際に写真の提供をお願いしています。写真を提供していただける方は、ご連絡ください。

不用品情報(無料)

地域医療ネットワークシンポジウムを開催します

地域医療の現状や医療連携の必要性などを伝えながら、地域医療を守るために一人一人がしなければならないことや、医療連携の普及に必要なことなどを参加者の皆さんと一緒に考えます。ぜひ、ご参加ください。

日時 3月2日(土)午後1時30分開演(午後1時開場)
場所 日本工業大学学友会館(宮代町学園台4-1)

内容
【第1部：基調講演】
テーマ 「とねっと」の現状と今後の展開について(仮題)
講師 長原光さん(済生会栗橋病院院長)

【第2部：パネルディスカッション】
テーマ 「とねっと」の現状と今後の展開について(仮題)

コーディネーター 伊関友伸さん(城西大学経営学部教授)
パネリスト 大橋良一さん(埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会会長、加須市長)
長原光さん(済生会栗橋病院院長)
石井英利さん(公設宮代福祉医療センター長)
柳澤利明さん(埼玉東部消防組合宮代消防署救急隊長、救急救命士)
大山満喜子さん(宮代町民)

定員 308人
参加費 無料
主催 埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会
共催 埼玉県
その他 事前の申し込みは不要です。
問い合わせ 同協議会事務局 ☎0480-63-0003

～健康づくりチャレンジポイント事業～ 該当書類をお持ちの方、申請はお済みですか

市では、健診(検診)やウォーキング、健康教室(認定講座)などに参加していただいた方に1,000円の行田商店共通商品券をプレゼントしています。詳細は、「市報ぎょうだ」平成30年7月号または市ホームページをご覧ください。該当書類がそろって申請がお済みでない場合は、早めに申請してください。

健診(検診)等対象期間 2月28日(木)まで
申請方法 3月8日(金)までに直接保健センター※必ず本人が書類の原本を持参してください



お済みですか 予防接種 ～高齢者肺炎球菌定期予防接種の 接種期限は3月31日(日)まで～

市内の医療機関には、予防票が用意されています。市外で接種希望の方は、保健センターにご連絡ください。

対象 次の①または②に該当し、これまでニューモバックスNP(23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン)の接種を受けていない方
①昭和28年4月2日～昭和29年4月1日生まれの方
昭和23年4月2日～昭和24年4月1日生まれの方
昭和18年4月2日～昭和19年4月1日生まれの方
昭和13年4月2日～昭和14年4月1日生まれの方
昭和8年4月2日～昭和9年4月1日生まれの方
昭和3年4月2日～昭和4年4月1日生まれの方
大正12年4月2日～大正13年4月1日生まれの方
大正7年4月2日～大正8年4月1日生まれの方
②接種日現在、60歳以上64歳以下の方で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に重度の障害(身体障害者手帳1級程度)のある方、またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害がある方

高齢者水中ウォーキング教室

- ▶**日時** 2月21日～3月14日の毎週木曜日(全4回) 午後2時30分～4時
- ▶**場所** 総合福祉会館「やすらぎの里」機能回復訓練プール
- ▶**内容** 水中歩行の基本を学びます。
- ▶**対象** 市内在住で65歳以上の方(年度内65歳可)
- ▶**定員** 15人(定員を超えた場合は抽選)
- ▶**参加費** 無料
- ▶**持ち物** 水着、水泳帽、タオル
- ▶**申し込み・問い合わせ** 2月5日(火)午前9時～15日(金)午後5時に直接または電話で行田市社会福祉協議会 ☎557-5400

背泳ぎ教室

- ▶**日時** 2月27日～3月20日の毎週水曜日(全4回) 午後2時30分～4時
- ▶**場所** 総合福祉会館「やすらぎの里」機能回復訓練プール
- ▶**内容** 背泳ぎを泳げるようになりたい方や泳法・泳力を伸ばしたい方のために、浮き方や立ち方から学びます。
- ▶**対象** 市内在住で60歳以上の方(医師から運動を禁止されている方を除く)
- ▶**定員** 10人(定員を超えた場合は抽選)
- ▶**参加費** 無料
- ▶**持ち物** 水着、水泳帽、ゴーグル、タオル
- ▶**申し込み・問い合わせ** 2月5日(火)午前9時～15日(金)午後5時に直接または電話で行田市社会福祉協議会 ☎557-5400



保健案内

保健センター
長野2-3-17
TEL:553-0053
FAX:555-2551



子どもの健康

ママ・パパ教室(要申し込み)
日時 3月14日(休)午後1時15分～4時(午後1時から受け付け)
対象 妊婦とその家族
定員 20人(先着順)
内容 妊娠中の歯の話、沐浴実習、妊婦疑似体験など
その他 安定期に入った妊娠中後期(18週～34週)の参加をお勧めします。

赤ちゃんクラス(申し込み不要)
日時 2月18日(月)午前10時～11時30分
対象 4カ月未満のお子さんとその保護者
内容 1カ月児健診が済んでから4カ月未満のお子さんの体重測定や育児相談です。友達づくりの場としてもご利用ください。

離乳食(中期)教室(要申し込み)
日時 2月21日(休)午前10時30分～11時30分(午前10時15分から受け付け)
対象 7～8カ月のお子さんとその保護者(保護者のみの参加可)

乳幼児相談(要申し込み)
日時 3月5日(火)午前9時30分～11時30分
対象 就学前のお子さんとその保護者

乳幼児健診
健診名 4カ月児健診、離乳食(初期)教室、10カ月児相談、1歳6カ月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診
その他 対象者には通知します。転入されたお子さんで、前住所地で受診していない方は保健センターにご連絡ください。

※4カ月児健診は個別健診のため、市内指定医療機関で、それ以外の健診などは保健センターで行います。
※4カ月児健診の受診票は赤ちゃん訪問で配布します。

在宅医療窓口

- ◇「病気があがるが、足が不自由で通院できない」「寝たきりの家族がいて床ずれが心配」などの相談があるとき
 - ・在宅医療支援センター ☎553-2060
 - ・相談時間 午前9時～午後5時(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)
- ◇「歯科医院への通院が困難」「訪問歯科診療を行っている歯科医院が知りたい」などの相談があるとき
 - ・在宅歯科医療推進窓口 ☎080-1391-8020
 - ・相談時間 午前10時～午後3時(正午～午後1時を除く)※土・日曜日、祝日、年末年始を除く

休日急患診療

休日や祝日の急な病気やけがのときは次の医療機関をご利用ください。

期日	医療機関名	電話番号
2月17日(日)	清幸会行田中央総合病院	553-2000
2月24日(日)	壮幸会行田総合病院	552-1111
3月3日(日)	壮幸会行田総合病院	552-1111
3月10日(日)	壮幸会行田総合病院	552-1111

診療時間 午前10時～午後5時
診療科目 内科、小児科、外科
※医療機関が変更されることがありますので、事前に問い合わせください。

#7119 (365日24時間対応)

病院に連れて行こうか迷ったときや受診できる医療機関を知りたいときの全国共通ダイヤルです。急な病気やけがに関して、看護師の相談員が医療機関を受診すべきかどうかなどをアドバイスしますので、判断に迷ったときは気軽にお電話ください。
※ダイヤル回線、IP電話、PHSの場合は ☎048-824-4199
※受診できる医療機関の案内は、行田市消防署 ☎550-2123も対応しています。

おとなの健康

こころの相談(要申し込み)
日時 2月27日(休)
※時間は申し込みの際にお知らせします。
場所 保健センター
対象 いつも不安、夜眠れない、生活のリズムが乱れている、自分の性格や人間関係に悩んでいるなど、心に悩みのある方
その他 随時、電話での相談も受け付けます。

健康相談(要申し込み)
日時 3月12日(火)
※時間は申し込みの際にお知らせします。
場所 保健センター
対象 食事や運動、歯など健康に関する生活習慣について相談したい方
その他 随時、電話での相談も受け付けます。



企業・事業主の皆さんへ 工場立地法の届け出をお願いします

工場立地法では、工場立地が環境の保全を図りつつ適正に行われるようにするため、一定の業種および規模の工場を新設・増設などをする際に事前に届け出を義務付けています。

- ①業種：製造業、電気・ガス・熱供給業
- ②規模：敷地面積9,000平方メートル以上または建築面積3,000平方メートル以上

【新設・増設・変更の届け出】

工事の開始日などから90日前までに届出書が受理されていなければなりません。

【氏名等変更・承継の届け出】

氏名、名称または住所を変更した日および新設または変更の届け出をした者の地位を承継した日から遅滞なく届け出を提出しなければなりません。

本市では平成27年1月1日から、条例で緑地面積率などを次のとおり緩和しています。

【緑地面積率の規制緩和】

法令上の緑地面積率	行田市条例の緑地面積率
全ての地域 20パーセント以上	工業専用・工業地域 10パーセント以上 準工業地域 15パーセント以上 それ以外の地域 20パーセント以上

【環境施設面積率の規制緩和】

法令上の環境施設面積率	行田市条例の環境施設面積率
全ての地域 25パーセント以上	工業専用・工業地域 15パーセント以上 準工業地域 20パーセント以上 それ以外の地域 25パーセント以上

▶問い合わせ 産業拠点推進室産業拠点推進担当(内線384)

平成31年度の行田市 生活道路等整備事業評価 が閲覧できます

市民の皆さんから寄せられた道路などの整備にかかる種々の要望の事業化に当たり、公平性・透明性を確保し、かつ効率的な事業執行が図れるよう「行田市生活道路等整備事業評価システム」を導入しています。

なお、事業評価の結果は、次の場所で閲覧できます。

▶閲覧場所および内容

- ①【道路治水課】生活道路や生活排水路の整備要望に関する事業評価
- ②【農政課】農道や農業用排水路の整備要望に関する事業評価

▶問い合わせ

- ①については道路治水課道路建設・維持補修・治水の各担当 ☎550-1553、②については農政課耕地担当(内線388)

バスを利用しやすい 環境づくり 「バスまちスポット」を 募集します

県では、公共交通を利用しやすくすることで、誰もが歩きやすく、地域とつながりやすいまちを目指し、「歩きやすいまちづくり～バスがたなぐ・人がつながる～」事業を行っています。

本市でも、市民や本市を訪れた人が、休憩場所やトイレ利用など、気軽にバスの利用ができる環境として、「バスまちスポット」に協力していただける施設を募集します。バス利用者が「バスまちスポット」でバスを待つことで、商品の購入やにぎわいが期待できます。



目印として「バスまちスポット」ステッカーを貼付します

▶対象

- バス停留所の近くで、バスを気軽に待てる施設(およそ50メートル以内)
- 商店、コンビニエンスストア、病院、金融機関など

▶申し込み 「バスまちスポット」の登録を希望する方は、地域づくり支援課で配布している申請書(県ホームページからダウンロード可)に必要な事項を記入し、同課に直接提出してください。

▶問い合わせ 同課くらし安心担当(内線252)

北彩タウン情報 ~でかけませんか となりまち~

加須市

本とあそぼう 全国訪問おはなし隊

550冊以上の絵本を乗せておはなし隊のキャラバンカーが加須未来館にやってきます。絵本の自由閲覧、絵本の読み聞かせ、紙芝居などをします。

- ▶日時 3月3日(日)午前10時～11時5分
- ▶場所 加須未来館(加須市外野350-1)
- ▶対象 2歳～8歳ぐらい
- ▶問い合わせ 同館 ☎0480-69-2160

羽生市

羽生市オリジナルのデザイン蓋を販売

水道仕切弁に限定イラストを施したデザイン蓋を作製し、部屋の飾りとして販売しています。

- ▶価格 【デザイン蓋】16,000円(消費税別)
- 【飾り台(置台)】8,000円(消費税別)
- 【梱包費用】1,500円(消費税別)

▶その他 材質や大きさ、購入方法など、詳しくは羽生市ホームページをご覧ください。

▶問い合わせ 羽生市水道課 ☎561-0969



図書館だより

市立図書館 佐間3-24-7(「みらい」内) TEL:556-4227 FAX:555-3770

開館時間 午前9時30分～午後7時
休館日 2月4日(月)・12日(火)・18日(月)・25日(月)・28日(木)・3月4日(月)・11日(月)
※休館中の図書の返却はブックポストをご利用ください。

新着図書

- 世界の名門バレエ団 渡辺真弓/著
- だれでもカンタンにできる資産運用のはじめ方 まがしまさこ/著
- 地面師 森功/著
- 狭い部屋を楽しむ片づけのルール 高野ひかる/監修
- 世界あっちこちくらし探検 スージー・レイ/文、グレッグ・パプロツキ/絵
- つちをほらなくなったスチームショベル ロジャー・デュボアザン/絵、ジョージ・ウォルターズ/文

春のミニ朗読会

「大人のための朗読会」の春の特別版を開催します。

- ▶日時 3月12日(火)午後2時～3時
- ▶場所 図書館ミーティングルーム
- ▶内容
 - 「バーバのかき氷(あつあつを召し上げれより)」小川糸/著 新潮社
 - 「猫の奪還(文豪たちが書いた「猫」の名作短編集より)」葉山嘉樹/著 彩図社
 - 「開け放たれた窓(八月の暑さのなかでより)」サキ/著 岩波書店
- ▶定員 30人(先着順)
- ▶協力 行田朗読の会
- ▶その他 申し込み不要です。

今月のおすすめのDVD・CD

- <DVD>
 - ・キセキ
 - ・八甲田山
 - ・赤毛のアン
- <CD>
 - ・蜜(柴咲コウ)
 - ・SUPER BEST(坂本冬美)
 - ・ZARD Forever Best ~ 25th Anniversary ~ (ZARD)

ぬいぐるみおとまり会

お気に入りのぬいぐるみを1日だけ図書館におとまりさせてみませんか。一緒に読み聞かせに参加した後にぬいぐるみたちをお預かりします。ぬいぐるみたちは図書館でどのような生活をするのでしょうか。

- ▶日時 3月9日(土)午後4時集合、10日(日)午後4時お迎え
- ▶場所 図書館ミーティングルーム
- ▶定員 10人(定員を超えた場合は抽選、参加が決定した方には2月27日(火)までに連絡します)
- ▶申し込み 2月13日(火)～20日(火)に直接または電話で同館



定例イベント※図書館で楽しいひとときを※

イベント名	日時	内容	対象	協力団体など	場所
ボランティアによるおはなし会	2月17日(日)午後2時	絵本や紙芝居など	幼児・小学生	おしゃべりインコの会	図書館おはなしのへや
	2月23日(土)午前11時				
	3月2日(土)午後2時				
	3月9日(土)午後2時				
たまごおはなし会	2月20日(休)、3月13日(休) 午前10時30分～11時 ※とことこタイムで実施	絵本、手遊び、パネルシアターなど	0歳～3歳児ぐらい	図書館職員	図書館おはなしのへや
ぴよぴよおはなし会	3月3日(日) 午後3時30分	絵本、紙芝居、素話(ストーリーテリング)など	4歳児ぐらい～小学生	図書館職員	
こっこおはなし会	2月16日(土)午後3時30分	絵本の読み聞かせ、工作、折り紙など	小学生	図書館職員	
英語であそぼう	3月10日(日)午前11時	英語の歌遊びや絵本の読み聞かせ	幼児・小学生	ベイリー久美子さん	
子ども映画会	2月16日(土)午後2時	ハローキティ 魔法の森のお姫さま	幼児・小学生	図書館職員	

図書館シネマ倶楽部	2月24日(日)午後1時30分(午後1時10分開場)	モダン・タイムス(洋画:83分) 出演:チャールズ・チャップリン	大人を対象としていますが、どなたでも鑑賞できます(定員70人、先着順)	図書館職員	「みらい」映像ホール
-----------	----------------------------	----------------------------------	-------------------------------------	-------	------------

自信と希望にあふれる新成人たち

1月13日、「みらい」文化ホールで平成31年行田市新成人を祝う会が開催されました。

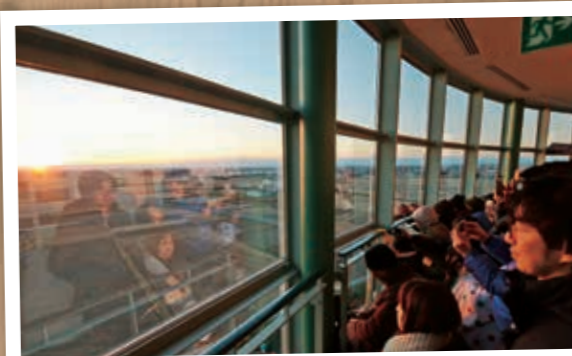
今年は午前と午後の部に分かれて行われ、合わせて619人が参加。華やかな振り袖や真新しいスーツに身を包んだ新成人たちは、自信と希望に満ちあふれた表情で仲間との再会を喜び合っていました。会では、「教えてください！ハタチのキモチ」と題した喫煙や飲酒、さらにはまちづくりに関する意識調査が実施され、講話の中で公表された結果に新成人たちは大きな関心を寄せているようでした。



高さ50メートルから見る 初日の出に歓喜

1月1日、古代蓮会館で迎春企画「タワーからみんなで見よう！平成最後の初日の出」が開催されました。

高さ50メートルからの初日の出を見ようと、夜半過ぎから多くの方が会館前に並びました。午前6時53分ごろ、東の空からオレンジ色の柔らかい光が展望室内に差し込むと、歓喜の声が上がリ、来館者は穏やかな新年の始まりを感じているようでした。



安心・安全な行田を担う 消防職団員らが新春に集結

1月12日、平成31年行田市消防出初式が産業文化会館・市役所前および水城公園で開催され、消防職団員総勢約300人が集結しました。

張りつめた空気の中、服装規律点検を受けた消防職団員らは、はしご車やポンプ車など24台の消防車両に乗車し、分列行進を実施。その後、一斉放水訓練が行われる水城公園にサイレンを鳴らしながら急行すると、沿道に詰めかけた観客からは歓声が上がリ、拍手が送られていました。



技能五輪国際大会での 金メダルを目指して

第56回技能五輪全国大会の家具職種で見事優勝したものつくり大学建設学科4年の山口智大さんが、12月20日、市役所を訪れました。

山口さんは、11月2日～5日に沖縄県で開催された同大会に出場し、二連覇を達成。また、8月にロシア連邦で開催される第45回技能五輪国際大会への出場が決まっている山口さんは、工藤市長から激励を受けると「金メダル(優勝)を目指し、日々の練習に励みます」と意気込みを語りました。



思いが込められた 108の鐘の音

12月31日、忍城址鐘楼付近で平成最後となる「行田ゆく年くる年」が開催され、多くの人でにぎわいました。

先着108人分の鐘つきの整理券を求めて、たくさんの方が列を作り、配布時刻を前に定員に達しました。そして、午後11時30分から始まった鐘つきは、忍城おもてなし甲冑隊らによるカウントダウンを挟んで行われました。参加者それぞれの思いが込められた鐘の音が、新しい年を迎えた静かな夜の街に響いていました。



プロ棋士のアドバイスに 将棋盤を見つめる子供たち

1月19日、中央公民館で第33回行田市小中学生将棋大会が開催されました。

市内の小・中学生45人が参加し、将棋盤を挟んで真剣試合が繰り広げられました。また、行田市観光大使で、プロ棋士(女流五段)の矢内理絵子さんの指導対局も実施され、子供たちは、試合の進め方や勝敗のポイントなどプロ棋士のアドバイスを聞き、将棋盤を見つめていました。



大声援と応援歌で盛り上がる 熱い戦い

1月12日・27日、行田グリーンアリーナで第8回引き城杯ミニバスケットボール大会が開催されました。

他市の子供たちとの親善と交流を目的に開催された大会に市外の9チームを含め、合計18チームが出場。選手らは元気よくコート内を走り回り、互いに何度もシュートを放っていました。また、ベンチからはチームのオリジナルの応援歌を交えた大声援が送られ、熱い戦いを盛り上げていました。



認知症について考えるきっかけに

12月21日、「みらい」文化ホールで地域包括ケア・認知症を考えるフォーラムが開催されました。

公益社団法人認知症の人と家族の会 埼玉県支部代表の花俣ふみ代さんの講演の後、認知症の方を抱える家族などの相談の場「つどい」や認知症の本人などが気軽に集える場「オレンジカフェ」を運営している方々が登壇し、日頃の活動内容を紹介。認知症になっても安心して暮らせるサポートが地域にたくさんあるとの話に、来場者は聞き入っていました。





公募第33回日本和紙絵画展で 東京都知事賞を受賞

小林昌子さん (北河原・72歳)

いろいろな和紙を使い台紙に貼って表現する、和紙絵。昨年11月26日〜12月2日に東京都美術館で開催された公益社団法人日本和紙絵画芸術協会主催の公募第33回日本和紙絵画展に、和紙絵の作品を出品し、東京都知事賞を受賞した小林昌子さんを紹介します。

和紙絵をやってみたくてずっと思っていたという小林さんは、平成18年に北河原公民館で行われた和紙絵講座を受講。講師から「初めてなのに良くできた」と褒められ、とてもうれしかったそうです。その後、平成20年に再度和紙絵講座を受けたのを機に、先生のもとに習いに行くようになりまし。小林さんは「違う種類の和紙を重ねることで濃淡を出したり、質感を変化させたりできるところが面白い」と和紙絵の魅力を語りま。また、完成した作品を公民館の文化祭で展示したり、季節に合わせて自宅の室内に飾ったりするのも、楽しみになっ



ているようです。平成27年3月に雅号「和唱」を取得し、創作作品に取り組みようになりました。稽古用セツトを使用したそれまでの作品とは違い、描くテーマを自分で探します。気に入った写真を参考にデッサンして制作し、展覧会へ出品しています。平成28年に公募日本和紙絵画展へ出品すると、初めての挑戦で入選を果たし、続く翌29年も入選。そして第33回の昨年の同展には、寺院を背景に、石塀の上にあじさいが咲いている様子を描いた作品『あじさい寺』を出品し、一般部(10号)で東京都知事賞を受賞したのです。「入選作品は会期中、東京都美術館内に展示されるので、これまでと同様に入選すればいいなと思っていたのですが、受賞の知らせを受けたときは、まさか、とても驚き、夢を見ているのかなと思っただけです」と受賞の喜びを口にしてくれました。審査委員長からは「あじさいの色彩の変化が美しく、石塀の深みのある色がうまく出せている。全体的に動きのある絵」という評価を受けました。「創作作品を手掛けるときは穏やかな気持ちになり、出来上がったときは達成感と満足感を得られるのが、和紙絵です。夢中になれるものがあるというのは、幸せなことですね。これからも自分のペースで作品を作っていきたいです」と話す小林さんから自然と笑みがこぼれます。次の公募展に向け、現在構想を練っている小林さん。次はどのような作品になるのかとても楽しみです。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で
広報広聴課へご応募ください。

- | | | | |
|----------------|------------|------------------|-----------|
| 俳句 | 荒木 藤田 栄之 | 同郷の友と語らう日向ぼこ | 荒木 高澤よね子 |
| 枯蠅蟬悟りきつたる面構へ | 忍 大澤 由子 | ささやかに屠蘇を祝いし老ふたり | 天満 青柳 欣吾 |
| むばたまの闇夜をひらく初明り | 谷郷 柳瀬 久 | 冬畦火鋸杖僧のごとく立つ | 門井町 塚原 武夫 |
| 野良猫の小屋をつくりし霜の朝 | 南河原 今村 文女 | 日向ぼこまうしなう指定席 | 佐間 須永 節子 |
| 実万両こで見ようか活けようか | 西新町 青木 泰山 | 良きことも悪しきもありて年果てる | 持田 荻原 義久 |
| 兜太亡き秩父夜祭鎮魂歌 | 城西 鈴木 正夫 | くつきりと轍の跡や霜の橋 | 持田 萩原 義久 |
| 平成の余韻残して除夜の鐘 | 矢場 高田みつ子 | 病める身の世間に疎くなりし冬 | 須加 天沼 広吉 |
| 寒鯉の緋色寄り添ひ泡ふたつ | 富士見町 鈴木スイ子 | 母見舞うしろ髪ひく冬病棟 | 持田 伊藤 洋子 |
| 恙なく第九を聴きて年暮るる | 矢場 鈴木かつの | 石灰を撒きし如くや霜の畑 | 谷郷 馬場 勇 |
| ちくわぶを足して夫待つ雪の夜 | 持田 園部 貞雄 | (三沢 一水 監修) | |
| ふつつと小豆煮込むや年の暮 | | | |

はじめまして



平成30年4月生まれのお子さんを募集します

○2月1日(金)〜28日(木)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線322)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、3月1日(金)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成30年2月生まれのおともだち ★★★



吉田 恵菜ちゃん(持田)
平成30年2月24日生まれ
父・正宏さん 母・裕美さん
「みんな笑顔になあれ☆」



栗原 あかりちゃん(門井町)
平成30年2月27日生まれ
父・宏明さん 母・眸さん
「元気に生まれてきてくれてありがとう!」



豊島 凜ちゃん(長野)
平成30年2月17日生まれ
父・諭さん 母・智美さん
「いつも笑顔をありがとう☆」



奥抜 太智ちゃん(矢場)
平成30年2月7日生まれ
父・宏さん 母・美和子さん
「奥抜家のアイドル!!」



長内 悠士郎ちゃん(清水町)
平成30年2月20日生まれ
父・誠さん 母・芽衣さん
「いつばいの笑顔♡ 幸せをありがとう♡」



木村 美結ちゃん(南河原)
平成30年2月26日生まれ
父・充さん 母・裕美さん
「たくさんの幸せをありがとう♡」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!

株式会社ダイエー自動車販売

トータルサービスで自動車の年間取扱台数は約4,000台以上



会社プロフィール

代表取締役 井上 光広
【事業内容】新車・中古車販売、車検、板金・塗装、一般整備、レッカー、レンタカーなど
【所在地】若小玉1589-1

昭和41年から50年以上にわたり自動車のトータルサービス企業として成長し続けているのが、株式会社ダイエー自動車販売です。社名にある「ダイエー」は市内栄町で創業したことで、「大きく栄える」という由来があります。現在は26人の社員が最新鋭の設備の下、自動車の販売から車検、板金・塗装、故障修理、レッカー、レンタカーなどの自動車に係るさまざまな業務に当たっています。また、顧客の方が1の事故や故障のために24時間365日体制で対応しています。同社が取り扱う年間自動車台数は販売台数を除いても約4千台以上にもなり、今なお年々増加しているそうです。

代表取締役の井上光広さんは、「国産車、輸入車どちらでも対応可能な自動車に関する地域で唯一の当社のトータルサービスはお客様に大変喜ばれています。また、最近力を入れてるのが自社ローンで、他社では自動車ローン利用が難しい方にも車に乗ってもらえるようにと独自のローンサービスを行いました。支払いを終えることによ

り、その方の信用情報回復にも貢献することができ、「ローンが組めるようになった。カードが作れるようになった」という喜びの声を頂いています。地域的にも車が必要不可欠なことからローンが組めず困っている方、今後の人生を豊かにしたい方にぜひ相談してもらいたいです。経営理念にある「関わる全ての人の笑顔の為に」を本気で追求していきます」と自信に満ちた様子で話してくれました。

また、社員の皆さんは常に顧客への笑顔とより良いサービスを提供していることと年度ごとに社内で開催される「経営計画発表会」で意思統一を図る他、毎月社員一同が会する食事で「ミニコミュニケーション」を深めているとのこと。

「お客様第一であるためには、働く社員も職場に満足してないと」と井上さんは微笑みます。成長し続ける同社は1月末に隣接する土地を約1000台の車両をゆつくりと見ることができ展示場に拡張しました。これからは利で楽しい車のある生活のため、たくさんの人々を同社のトータルサービスで笑顔にしていこうと決まっています。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。

イベント

落校教育を現代に活かす
第3回朗唱まつり

▼日時 2月23日(土)午後1時30分
分開演(午後1時開場) ▼場所 「みらい」文化ホール
▼内容 忍藩子ども塾生らによる
論語・漢詩の素読や朗唱の披露
他 ▼定員 500人(先着順)
▼入場無料 ▼主催 公益財団法人忍郷友会 ▼後援 行田市教育委員会 ▼同会
☎556-9000(火・金曜日の午前10時〜午後4時)

佐間写真クラブ
作品発表会

▼日時 2月14日(休)〜17日(日)午前9時〜午後4時30分 ▼場所 佐間公民館 ▼同
佐間写真クラブ高澤
☎555-1335



県立進修館高等学校
写真部作品展

▼日時 2月14日(休)〜19日(火)午前10時〜午後6時30分(最終日は午後4時まで) ▼場所 八木橋百貨店8階オープンギャラリー

リー熊谷(熊谷市仲町74) ▼内容 県立進修館高等学校写真部生徒の作品約30点(同校写真部顧問島田穰さんが撮影した富士山の写真の展示) ▼入場無料 ▼同校 ☎556-6291

第3回税に関する絵はがき
コンクール作品展

▼期間 3月12日(火)〜15日(金)
▼場所 商工センターパブリックホール ▼内容 公益社団法人行田法人会主催の「第3回税に関する絵はがきコンクール」で入選した作品および市内の小・中・高生の応募作品の展示 ▼同会 ☎554-4535

街かどギャラリー

こけしと人形・お雛さま
▼日時 2月1日(金)〜26日(火)午前9時〜午後6時※木・日曜日、祝日を除く、土曜日は午後1時まで ▼場所 ミキ薬局 埼玉行田店(佐間1-27-3)
▼内容 江戸後期から日本人に親しまれた木製の人形現具のこけし、日本人形やセルロイド人形、おひなさまの掛け軸や人形

募集

自衛官候補生

▼試験日 3月4日(月)・5日(火)のうちいずれか1日 ▼試験会場 入間基地(狭山市稲荷山2-13) ▼対象 18歳以上33歳未満の方 ▼受付期間 2月25日(月)まで ▼同 防衛省自衛隊埼玉地方協力本部熊谷地域事務所 ☎522-4855

講演会・講座・教室

地域活性化伝道師の教える
まちづくり講演会

▼日時 2月27日(水)午後5時30分〜7時(午後5時開場) ▼場所 ベルヴィアイトピア3F
シャンボール(持田2792-1)
▼内容 地域資源を活用したまちづくりを通して、人との関わり大切さを学ぶ ▼講師 岩崎徹さん(アイーダ・アライアンス代表) ▼対象 市内在住の方 ▼定員 100人 ▼参加無料 ▼主催 (公社)行田青年会議所 ▼同・同 同会議所事務局 ☎556-4115

第30回環境公開学習会

「住宅の窓・窓まわりの省エネ・健康対策」
▼日時 2月23日(土)午後1時30分〜3時30分 ▼場所 中央公民館第2学習室 ▼内容 住宅の窓を樹脂窓にすることにより、高い断熱効果で健康、防音、省エネが図られることを専門家に学ぶ ▼講師 高村正彦さん(塩ビ工業・環境協会環境・広報部長) 他 ▼定員 50人 ▼参加無料 ▼主催 行田環境市民フォーラム ▼同・同 電話またはFAXで中村 ☎090-1778-4062 [FAX] 554-1167



講演会
「時代の流れ〜昭和・平成
そして次の時代へ〜」

▼日時 2月13日(水)午後4時〜5時30分 ▼場所 ベルヴィアイトピア(持田2792-1)
▼講師 小林群司さん(太陽グループ自動車教習所代表取締役

などを展示
銀響のスター・ポスター展

▼日時 2月1日(金)〜3月29日(金)午前9時〜午後4時※土・日曜日、祝日を除く ▼場所 JR行田駅前郵便局(吉里山町13-2) ▼内容 嵐寛寿郎の鞍馬天狗、夏目雅子の瀬戸内少年団など、映画ファン必見のポスターを中心に展示
▼同 栗原 ☎090-1535-4460

第3弾
結婚応援プロジェクト

▼日時 3月24日(日)午後2時(午後1時30分から受け付け)
▼場所 忍・行田公民館 ▼内容 水城公園の桜の中を散策した後、カップル成立となった方に記念品を贈呈。その中から1組にHANAHホテルの宿泊券をプレゼント ▼対象 25歳〜40歳ぐらいの独身の方 ▼定員 男女各15人(定員を超えた場合は抽選) ▼参加費 男性1千500円、女性1千円 ※スイーツ、飲み物、土産付き ▼その他 JR行田駅前から送迎バスあり(午後1時10分発) ▼同・同 3月15日(金)

までにEメールでNPO法人行田結婚支援センター ☎090-3131-8356 [Eメール] gyoda.ketton.shienn@gmail.com

ふれあい人形劇

▼日時 3月9日(土)午後1時30分〜3時30分 ▼場所 児童センター遊戯室 ▼内容 立正大の学生らによる楽しい人形劇 ▼定員 50人 ▼参加無料 ▼その他 未就学児は保護者の付き添いが必要 ▼同 2月4日(月)から直接または電話で同センター ☎554-5706(午前10時〜午後5時30分)

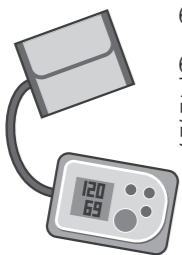
行田市ゼリーフライの大使
潮崎ひろの震災復興チャリ
ティーライブ#93、94

▼日時 2月24日(日)、3月24日(日)【1回目】午前11時15分【2回目】午後2時15分 ▼場所 忍城址※雨天・荒天の場合は、観光情報館がらつとろぎょうだ内 ▼出演 潮崎ひろの、地元ミュージシャン ▼観覧無料 ▼主催 (有)ポップ企画 ▼同 同社 ☎554-0789

役 ▼定員 30人(先着順)
▼参加無料 ▼主催 行田武蔵野会 ▼同 住所、氏名、電話番号を明記の上、FAXで武蔵野銀行行田支店 [FAX] 554-9680 ▼同 同会事務局(同銀行行田支店) ☎556-3195

健康チェックサポーター
養成講座

▼日時 2月21日(休)・28日(休)午後2時〜4時 ▼場所 コミュニティセンターみずしろ205会議室 ▼内容 健康チェックのサポートができるようにするため、参加者同士で健康チェック(血圧、体脂肪、骨密度、体力チェックなど)を体験し合う ▼参加無料 ▼後援 行田市 ▼同・同 行田協立診療所高橋 ☎556-6755



藍の茎染め体験

▼日時 2月9日(土)午前10時〜午後1時 ▼場所 牧禎舎藍

染体験工房(忍1-4-11) ▼内容 牧禎舎で育てた藍を使うて、冷えとり用の靴下や腹巻などを草木染めします。 ▼定員 12人(先着順) ▼費用 材料費(1千800円から) ※染める物によって異なる ▼主催 同工房 ▼同・同 電話またはEメールで同工房菅井 ☎090-3430-9337 [Eメール] maketei@tabigura.net

少林寺拳法教室

▼日時 4月6日・13日・20日・27日、5月11日の土曜日の午後7時〜8時15分 ▼場所 行田グリーンアリーナ柔道場 ▼対象 小学生以上 ▼費用 【中学生以下】1千500円 【高校生以上】2千500円(保険料・資料代を含む) ▼持ち物 タオル ▼主催 行田市少林寺拳法連盟 ▼その他 トレーニングウェアなど運動しやすい服装で参加のこと ▼同 3月2日〜23日の毎週土曜日の午後7時〜8時に費用を添えて、行田グリーンアリーナ柔道場 ▼同 同連盟島田 ☎090-3049-4694

広告

広告



ものづくり大学市民工房
(特別課程木造建築科)
受講生

日曜大工コース

(1年制、実習)

▼内容 趣味と実益のために木工の基礎技能を習得するコース
▼定員 15人

初級・中級コース

(1年制、実習・講義)

▼内容 【初級】木造建築に関する設計、制作、修復などを基礎から学ぶコース【中級】木造建築に関する経験者で基礎的知識や技能を備えており、より高度な知識や技能の習得を目指す

コース ▼定員 各5人
専門家コース
(2年制、実習・講義)

▼内容 住宅などの建築設計、施工などの仕事に携わる方が専門知識を身につけ、2級建築士(または木造建築士)の受験資格が得られるコース ▼定員5人
▼その他 受講料など詳細は、ものづくり大学にお問い合わせください。 ▼申込 2月28日(木)までに同大学建設学科事務室 ☎564-3849 (平日の午前9時~午後5時)

行田市体操連盟 平成31年度会員抽選会

行田市体操連盟では、平成31年度の会員を決定するための抽選会を実施します。

▶日時 2月17日(日)午前10時30分開始(午前10時から受け付け)

▶場所 行田グリーンアリーナ

▶募集内容

クラス	対象	定員	活動日時
親子クラス	3歳児とその母	25組	毎週水曜日 午後2時30分~3時30分
幼児クラス	新年中児	30人	毎週水曜日 午後3時30分~4時30分
1年生クラス	新小学1年生	若干名	毎週水曜日 午後4時30分~5時30分
Kコース	新年長児	10人	毎週土曜日 午後2時~3時

▶費用 【入会金】2,500円

【月会費】2,500円

▶問い合わせ 同連盟事務局若林 ☎090-3091-1781

サバの味噌煮教室

▼日時 2月23日(土)午後2時~4時30分 ▼場所 VIVA

ぎょうだ調理室 ▼内容 三枚おろしから煮付けまでの調理方法を学ぶ。出来上がったものは持ち帰り可能 ▼定員 10組

▼参加費 1尾450円×尾数(1尾で4切れ分) ▼持ち物

エプロン、バンダナ、スリッパ、持ち帰り用容器 ▼主催

NPO法人行田市民大学活動センター ▼申込 2月15日(金)

までに電話で同センター市来 ☎080-11228-1570

商工センター映画祭

▼日時 2月16日(土)午後2時上映 ▼場所 商工センターホール

▼上映作品 長編アニメーション映画「ハードル」(上映時間84分) ▼定員 300人

(先着順) ▼入場無料 ▼その他 事前申し込み不要。

梅まつり

▼日時 2月23日(土)・24日(日)午前9時~午後4時30分(入館受け付けは午後4時まで) ▼場所 古代運會館

▼内容 梅昆布茶サービス。各日、入館者先着50人に梅の小枝をプレゼント(一人1本) ※開花状況により中止の場合あり。その他、売店に「春の和菓子コーナー」を設置。

▼入館料 高校生以上400円、小・中学生200円 ※未就学児は無料

献血

▼日時 3月13日(水)午前9時30分~午後4時 ※午前11時45分~午後1時を除く ▼場所 忍・行田公民館

▼内容 全血献血 ▼持ち物 献血カード(お持ちの方) ▼主催 行田ライオンズクラブ

▼申込 埼玉県赤十字血液センター ☎048-720-18009

その他

グリアリ・トレーニング室
早春イベント「目指せ!鉄剣マラソン!ゴールへの道」

▼期間 2月18日(月)~3月31日(日) ▼内容 ランニングマシン

(公財) 行田市産業・文化・スポーツいきいき財団

…申し込み・問い合わせ…

産業文化会館 TEL.556-6371 FAX.556-6372	商工センター TEL.553-0510 FAX.553-2021	古代運會館 TEL.559-0770 FAX.559-0784	行田グリーンアリーナ TEL.553-3377 FAX.553-0487

<http://www.ikiiki-zaidan.or.jp/index.html>

まちな脈わい、感謝祭
音楽と菓子の祭典
2019

▼日時 2月24日(日)午前9時~午後4時 ▼場所 商工センター ▼内容 「菓子の祭典」各店舗の和菓子・洋菓子販売、ココア・甘酒の無料配布
【ステージイベント】午前10時30分および午後1時~潮崎ひろのさん・立石純子さん(いずれも歌)、午前11時および午後2時~さきたまくらりねっとあさん(クラリネット四重奏、午前11時30分および午後2時30分~小林礼美さん・川崎



邦楽邦舞のついで

▼日時 3月9日(土)午後2時開演 ▼場所 「みらい」文化ホール ▼内容 日本舞踊と長唄演奏の鑑賞および解説。伝統文化おやこ教室参加者の発表会あり。 ▼入場無料

古代運の里
売店出店登録業者

古代運の里売店では、弁当、野菜、土産品、運に関連する雑貨などを出品する業者を募集します。
▼応募条件 次の①~④の全てを満たしている業者 ①市内に事業所を置いていること ②一年を通じ継続的に商品を出品できること ③来園者の利便に役立つものを出品できること ④法人税または市県民税を完納していること ▼申込 古代運會館で配布する申請書に必要事項を記載し、必要書類を添付の上、2月28日(日)午後4時まで同館

産業文化会館を
臨時休館します

3月16日(土)は、館内消毒作業を実施するため全施設臨時休館となります。

行田市民プール
監視担当スタッフ

▼勤務日数 シフトによる週2~3日の勤務 ▼勤務時間【平日】午後6時30分~9時【土・日曜日、祝日】午前9時15分~午後9時のうち4~8時間 ▼業務内容 利用状況の監視、案内、設備器具などの管理業務 ▼応募資格 健康で、土・日曜日、祝日の勤務が可能の方 ▼募集人数 2人 ▼時給 900円(試用期間あり) ▼選考方法 書類審査の上、面

広告

広告

関ヶ原合戦図屏風

市指定文化財 行田市郷土博物館所蔵

戦国時代や近世初期の合戦の様子を描いた屏風を総称して戦国合戦図屏風といっています。今回紹介する資料は、その中でも際立った特徴がある関ヶ原合戦図屏風です。

屏風の形態は六曲一双といい、右側（右隻）、左側（左隻）それぞれ異なる場面を描き一對の屏風としています。まず、右隻には慶長5年（1600）9月14日に現在の岐阜県大垣市で行われた杭瀬川の戦いを描いています。この戦いは西軍の誘いに乗った徳川軍



関ヶ原合戦図屏風(右隻)

が杭瀬川を渡ったところで待ち伏せに遭い敗走したもので、西軍が勝利した戦いです。左隻は翌15日の合戦当日の様子を描いたもので、関ヶ原町教育委員会や彦根城博物館などが所蔵する屏風と同系統のもので、これに後の大垣藩主戸田氏鉄の様子が書き加えられています。

このように2日

間の戦いを左右で書き分けた屏風は、他に岐阜県内で2点の存在が知られています。杭瀬川の戦いも大垣城下で行ったことを考えれば、本屏風の左隻は彦根藩主井伊家周辺で合戦当日の様子を描いた屏風を祖本として、右隻に杭瀬川の戦いを合わせた六曲一双の屏風が大垣藩主戸田家周辺で作成され、模写されたといったと考えられます。

この屏風が行田に所在する理由は、明治時代の政治家湯本義憲と深い関わりがあります。湯本義憲は市内埼玉の旧家湯本家の当主で、県会議員や衆議院議員を歴任した政治家です。とくに治水問題に造詣が深く、明治23年（1890）の第1回帝國議會で提案した「治水に関する建議」は後の河川法の骨子となりました。その業績を買われ、同30年に岐阜県知事に就任しました。この屏風は、湯本が知事時代に岐阜で譲り受けたものと伝えられています。

愛知県以東の博物館で六曲一双の関ヶ原合戦図屏風を公開しているのは当館だけであり、全国の博物館から展覧会への出品の依頼があるとともに、テレビ番組や歴史系の図書でも多く使用されています。その意味では当館の名声を広めてくれた資料ともいえます。

（郷土博物館 鈴木紀三雄）

行田にほんご教室

日本語を母語としない方々に日本の言葉や文化、習慣などを教え、地域社会に溶け込んでもらえるよう活動しているのが「行田にほんご教室」です。

平成19年に活動を始め、現在15人の会員が所属する同団体では、日本語教室を月に4回ほど、コミュニティセンターみずしろで開設しています。教室では、子どもから大人まで年齢を問わず、さまざまな国の人たちに読み書きやあいさつ、電話のかけ方など、生活の各場面に密着した日本語を一人一人の学習レベルに合わせて指導しています。また、七夕や正月など季節の行事を取り入れ、日本の文化に触れる機会も提供しています。

さらに、市内の小・中学校へ毎週出向き、外国籍の児童・生徒を相手に1時間ほど、マンツーマンによる指導を行っています。初めのうちは日本語が全く分からず、日々不安げに学校に通っていた子供たちも、数カ月経つと前向きな姿勢になり、周囲ともコミュニケーションを取れるようになると大変喜ばれているそうです。

「日本語が上手になった子供たちが進学や就職などで巣立っていく姿を見ると、とてもうれしくなります」とやりがいを語ってくれた代表の三友勇さん。国全体で外国人労働者の受け入れも議論される中、多文化共生社会の実現に向け、同団体の活動にますます期待が高まります。

【代表】三友 勇 【電話番号】048-554-9008

つながる ひろがる みんなのチカラ

～市民公益活動団体紹介～②⑥



自作のテキストなどを使用して親身に指導

今月の表紙

1月6日、行田グリーンアリーナ剣道場で行田市剣道連盟による新年の「稽古始め」が行われました。冷え切った床の上を素足で踏み込み、一心に竹刀を振る剣士たち。その元気な掛け声が、いつまでも場内に響き渡っていました。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をダイジ版に録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)までご連絡ください。



市報ぎょうだは再生紙を使用しています